

スノーシューと硫黄冷鉱泉のお誘い 静寂の中、雪を踏みしめる音だけが響く

企業紹介

有限会社 稲子湯

- 代 表 者: 原田幸男
- 所 在 地: 南佐久郡小海町稲子1343
- 従業員数: 5名
- 事業内容: 旅館業
- 連 絡 先: 0267-93-2262



上席専門経営支援員
田邊 潤一



北ハケ岳山麓標高1500mにある1軒の山小屋風の旅館
映画「岳」・「駅」、台湾「戦争前夜」の撮影ロケ地
明治40年に内務省東京衛生試験所にて分析を行い冷鉱泉として
認可される 泉温:7.6℃ 泉質:二酸化炭素硫黄冷鉱泉 pH 4.9(弱酸性)

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

当施設は、ハケ岳の登山ルートへの入口という立地条件であり、登山シーズンにおいて宿泊客は安定的に確保されているが、客数が激変するシーズンオフの誘客が課題である。

宿泊者数は、本年度は昨年度より増加しているが、リーマンショック以降は右肩下がりの傾向になっている。また、スキー客の利用も大幅に減少している。

今まで、冬期に「スノーシュー」を目的とした宿泊者はあったものの、宿泊動機を誘客に結びつける認識はなかった。経費面では、泉温7.6℃の硫黄冷鉱泉を加熱する関係で、水道光熱費の負担が大きい。

■実施した支援内容

事業主は、スノーシュー目的の宿泊者の誘客拡大をするという認識が無く、受け身の姿勢であったので、当施設利用者のブログや宿泊者状況の再確認を提案し、誘客方法や施設での滞在などを観光サイド、施設サイド、利用者サイドの側面からのヒアリングを実施した。

施設利用者のブログを再度分析した結果、スノーシュー宿泊者の拡大の可能性を確認し、誘客に向けてのヒントを得た。

具体的な誘客戦略として、「スノーシューと硫黄冷鉱泉のお誘い」をインターネット、SNS等での発信を計画した。

また、台湾の映画の撮影ロケ地になっていることから、将来的には、「雪・山岳・温泉」のイメージ戦略で、東南アジアの方をターゲットにインバウンドへの誘客も展開して行くとともに、長野県で推進している山岳高原観光地づくりにおいて、山岳高原やアウトドアを安全・安心に楽しめるように「スノーシュー」での誘客を図って行くことを確認した。



(スノーシュー イメージ)

連携先: 小海町商工会

支援の結果及び今後の展開等

当施設(長野県)の強みである山岳高原やアウトドアの安全・安心発信の準備をすることで冬期誘客効果へ向かった。

世界水準の山岳高原観光地づくりへの取り組みが可能になり、信州ブランドが発信される。

支援を受けて

シーズンオフ対策で冬期間休業も考えていました。自然の美しさと真っ白な新雪を体験できることを発信することで、ハケ岳の素晴らしさを知っていただければと思います。まずは、情報発信からスタートします。

